

上廣・日比谷ライブラリーレクチャー

シリーズ 私の修業時代

著名人が語る無名の時代の日々。どのように思いを定め、どう生きてきたか。どのように生きようとしたか。そしてどう生かされたか。人生の勇気が湧く、生きるヒントが満載の貴重な証言。

今回は『銀河鉄道の父』（講談社）で第158回直木賞を受賞された作家、門井慶喜氏にお話しいただきます。



撮影/ホンゴユウジ

「私の修業時代、 偉人たちの修業時代」

門井慶喜（作家）

幕末、明治はいろいろな偉人があらわれたが、彼らにも下積みの時期はあった。というより、変革期には単なる「生まれ育ち」で世に出た人はひとりもない。いろいろなエピソードを織り込みつつ、私自身の経験もまじえて、いわゆる「芽が出る」ということの普遍的な原理のようなものを考えたい。

かどい・よしのぶ

1971年群馬県桐生市生まれ。栃木県宇都宮市出身。94年同志社大学文学部文化学科文化史学専攻（日本史）卒業。2003年「キッドナッパーズ」で第42回オール読物推理小説新人賞受賞。06年『天才たちの値段』で単行本デビュー。

〈作品〉『天才たちの値段』2006年文藝春秋刊。『人形の部屋』07年東京創元社刊＝第61回日本推理作家協会賞（長編及び連作短編集部門）候補。『パラドックス実践 雄弁学園の教師たち』09年講談社刊（収録作中「パラドックス実践」＝第62回日本推理作家協会賞（短編部門）候補）。『竹島』12年実業之日本社刊。『シュンスケ！』13年角川書店刊＝第3回歴史時代作家クラブ賞（作品賞）候補。『かまさん』13年祥伝社刊＝第3回歴史時代作家クラブ賞（作品賞）候補。『注文の多い美術館 美術探偵・神永美有』14年文藝春秋刊。『東京帝大観古教授』15年小学館刊＝第153回直木賞候補。『マジカル・ヒストリー・ツアー ミステリと美術で読む近代』15年幻戯書房刊＝第69回日本推理作家協会賞（評論その他の部門）受賞。『家康、江戸を建てる』16年祥伝社刊＝第155回直木賞候補。16年第34回咲くやこの花賞（文芸その他部門）受賞。『銀河鉄道の父』17年講談社刊＝第158回直木賞受賞。

日 時：平成30年 **6月29日(金)** 19:00～20:30（18:30開場）

会 場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（200名）

参加費：500円 ※千代田区内在住者および学生無料。住所の確認できるもの、学生証等をお持ち下さい。

主 催：公益財団法人上廣倫理財団 <http://www.rinri.or.jp>

共 催： 千代田区立
日比谷図書文化館 <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>
Hibiya Library & Museum



都営地下鉄 ● 三田線「内幸町駅」A7出口／徒歩3分
 東京メトロ
 ● 丸の内線 ● 日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口／徒歩3分
 ● 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口／徒歩3分
 JR「新橋駅」日比谷口（SL広場）徒歩10分
 ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

参加申込方法

日比谷図書文化館ホームページの申込みフォーム、電話(03-3502-3340)または、日比谷図書文化館1階受付カウンターにて、講座名、お名前、よみがな、お電話番号をご連絡ください。定員200名(事前申込順・定員に達し次第締切)。キャンセルの場合はご連絡ください。